

平成 29 年度 第 6 回  
希望郷いわてモニターアンケート質問書

課題名	地域福祉に関する意識調査
-----	--------------

平成 30 年 2 月

岩手県保健福祉部地域福祉課

※この質問書は控えとしてお持ちいただき、回答用紙に答えをお書きください。

# 地域福祉に関する意識調査

岩手県保健福祉部地域福祉課

## I 調査目的

県では、平成21年3月に「岩手県地域福祉支援計画」を策定し、「互いに認め合い、共に支え合いながら、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現」を基本理念に掲げ、地域福祉の推進に取り組んできたところです。

本調査は、今後の地域福祉に関する施策の参考にするとともに、平成30年度に策定を予定している「岩手県地域福祉支援計画（第3期）」の基礎資料とするものです。

お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願い申し上げます。

### <地域福祉>

それぞれの地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です（社会福祉法人全国社会福祉協議会ホームページ）。

## II 質問

問1 あなたは、「地域福祉」という言葉を御存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っていて意味も理解している
- ② 知っていて意味もなんとなくであるが、理解している
- ③ 聞いたことはあるが、意味は知らない
- ④ まったく聞いたことがない

問2 「地域福祉」という言葉から、どのようなイメージを受けますか。最も近いものを1つ選んでください。

- ① 誰にとっても暮らしやすい社会をつくること
- ② 経済的に恵まれていない人を助けること
- ③ お年寄りや障がいのある人、子育て中の人などを周りの人が支えること
- ④ 日常生活において困ったときにお互いに助け合うこと
- ⑤ お年寄りや障がいのある人のために施設や制度を整えること
- ⑥ その他（具体的に御記入ください。）

問3 近所の方とどの程度のお付き合いをしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 困ったときに何でも相談し、助け合える人がいる
- ② 家を行き来するなど親しく付き合っている

- ③ 顔が合えば立ち話をする程度
- ④ 挨拶を交わす程度
- ⑤ ほとんど付き合いがない
- ⑥ 隣近所にどんな人が住んでいるか分からない

問4 今の近所付き合いに満足していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 満足している
- ② ある程度満足している
- ③ あまり満足していない
- ④ 満足していない
- ⑤ どちらともいえない

問5 近所付き合いについて、どのように考えますか。最も近いものを1つ選んでください。

- ① 相談したり助け合うことは、当然である
- ② わずらわしいと感じることもあるが、万一の際は、互いに助け合えるよう日頃から大切にしている
- ③ わずらわしいことが多いので、あまり関わらないようにしている
- ④ なくても困らない
- ⑤ その他（具体的に御記入ください。）

問6 自治会・町内会活動に参加していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① よく参加している（①を選んだ方は、問8にお進みください。）
- ② ある程度参加している（②を選んだ方は、問8にお進みください。）
- ③ あまり参加していない（③を選んだ方は、問7にお進みください。）
- ④ まったく参加していない（④を選んだ方は、問7にお進みください。）

問7 問6で③又は④を選択された方にお聞きします。

理由として、あてはまるものを全て選んでください。

- ① 忙しくて時間がない
- ② 自分の趣味や余暇活動を優先したい
- ③ 地域の付き合いがわずらわしい
- ④ 興味・関心がない
- ⑤ 声が掛からない
- ⑥ 何をいつ、どこでやっているのかわからない
- ⑦ 一人で参加しづらい
- ⑧ その他（具体的に御記入ください。）

問8 近所に住んでいる、何らかの生活・福祉課題を抱える方への支援について、どのように考えますか。最も近いものを1つ選んでください。

- ① できる範囲で支援したい（①を選んだ方は、問9にお進みください。）
- ② 専門の相談機関や行政機関（高齢者介護・子育て等の各種支援センターや役所・役場等）が支援すればよい（②を選んだ方は、問10にお進みください。）
- ③ その他（具体的に御記入ください。）（③を選んだ方は、問10にお進みください。）

問9 問8で①を選択された方にお聞きします。

あなたが協力できると思う支援について、あてはまるものを全て選んでください。

- ① 話し相手
- ② 悩みごとの相談相手
- ③ 日常生活での声掛け
- ④ 外出（買い物、通院等）の手伝い
- ⑤ 日常生活（ゴミ出し、除雪等）の手伝い
- ⑥ 短時間の子どもの預かり
- ⑦ 災害時の避難の手助け
- ⑧ その他（具体的に御記入ください）

問10 今後、地域の助け合いや福祉活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 気軽に相談できる窓口を設置する
- ② 活動できる拠点や場所を整備する
- ③ 地域課題や地域活動に関して、広く学習する機会をつくる
- ④ 活動に関する情報や活動の場を紹介する
- ⑤ 人材・リーダーの育成をする
- ⑥ 活動費の援助

問11 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、どのように行うべきだと思えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 学校教育の場で学ぶ
- ② 家庭の中で学ぶ
- ③ 地域の活動などを通じて学ぶ
- ④ 生活していく中で自然と身につく
- ⑤ 特に必要はない
- ⑥ その他（具体的に御記入ください。）

問 12 あなたの住んでいる地域の福祉課題は何だと思えますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

- ① お年寄りや障がいのある人など、地域で支援を必要としている人が増えていること
- ② 福祉課題を抱える人が安心して生活できるサービスや施設が整っていないこと
- ③ 人と人との繋がりが希薄になり、隣近所で支え合う関係が少なくなっていること
- ④ ひきこもりや孤立している人が増えていること
- ⑤ 災害などが起こったときに、地域の人の助け合いの体制づくりができていないこと
- ⑥ その他（具体的に御記入ください。）

問 13 自分では解決できない福祉に関する相談や悩みごとがあった場合、まずはどのようなところに相談しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ① 家族・親族
- ② 友人・知人
- ③ 職場の同僚や上司
- ④ 隣近所の人
- ⑤ 自治会・町内会
- ⑥ 民生委員・児童委員
- ⑦ 専門の相談機関や行政機関（高齢者介護・子育て等の各種支援センターや役所・役場、社会福祉協議会など）
- ⑧ 相談できる人はいない
- ⑨ その他（具体的に御記入ください。）

問 14 地域福祉を推進するために、行政はどのような分野を優先して取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

- ① 地域福祉を担う人材の育成
- ② 地域住民等に対する福祉の意識の醸成
- ③ 身近なところで何でも相談できるような相談体制の整備
- ④ 総合的な福祉サービス情報の提供の充実
- ⑤ 権利擁護や苦情対応等の取組
- ⑥ 住民による身近な支え合い活動への支援
- ⑦ ボランティア等の活動支援
- ⑧ 被災地の福祉コミュニティの再生と生活支援
- ⑨ その他（具体的に御記入ください。）

問 15 その他、地域福祉について、御意見等ありましたら御記入ください。

問 16 あなた御自身のことについてお聞きします。あてはまるものを選んでください。

(1) 性別

- ① 男性 ② 女性

(2) 年齢

- ① 20～29 歳 ② 30～39 歳 ③ 40～49 歳 ④ 50～59 歳 ⑤ 60～69 歳  
⑥ 70 歳以上

(3) 世帯構成

- ① ひとり暮らし ② 家族（親族等）と同居

(4) 住居の形態

- ① 持家（一軒家） ② 持家（マンション等の集合住宅） ③ 借家（一軒家）  
④ 借家（アパート等の集合住宅） ⑤ その他

(5) 住居の近隣（徒歩で5分程度の範囲）の状況

- ① 周囲は隣家に近接しており、住宅が多く集まっている地区  
② 住宅がまばらで少ない地区  
③ 自分の住居以外には、住宅がない地区

(6) 住んでいる地域での居住年数（通算）

- ① 5年未満 ② 5年～9年 ③ 10年～19年 ④ 20年～29年  
⑤ 30年以上

(7) 日常の買い物や通院の利便性

- ① 便利で、特に困ることはない  
② 便利な方だが、たまに困ることもある  
③ やや不便で、困ることがある  
④ 大変不便で、困る

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。